



2学期のスタートにあたり”

こども園に再び以前の活気が戻ってきました。子どもたちは、今年の夏の収穫に大きな自信と誇りをもって登園してきました。

42日間に、①十分な親子のふれあい、②各種体験活動への積極的な参加、③交通事故・水難事故への配慮などに気をつけてくださったおかげで、1件の事故やけがもなく、134人の園児及び全職員が元気で2学期を迎えることができました。このことは、園児の自覚に併せて、保護者の皆様方の御協力の賜物と職員一同感謝しております。2学期は秋の遠足や生活発表会などがあり、保護者の方々に大変お世話になるかと思いますが、御協力のほどよろしくをお願いします。

こども園では、日々の保育の充実はもちろんですが、「遊びをつくっていく子」「感性豊かに表現する子」「生活を工夫する子」の目指す子ども像の達成のために努力していきたいと思っています。一日も早く園生活のリズムを取り戻し、「いっぱい遊び いっぱい創り 豊かな感性と心情を育む」の教育目標達成のために、全職員が心を一つにしてじっくり取り組みます。一層の御理解と御支援をお願いします。



“こんな親になってほしい！”



【第5回】「こんな時代だからこそ人生を生き抜く力を与えたい！」

わたしの実家は料理店を営んでおりました。母親はわたしが学校から帰るのを待ち構えていたり、朝、学校へ出かけるときに、「今日は学校から帰ったら、〇〇さんところの出前の器を下げに言ってね。」などと毎日仕事を言いつけたりしたものです。

ところが、最近の親は子どもに仕事をさせきれていないと感じます。習い事があるからか、それとも自分がやった方が早く片付くとも思っているからなのでしょうか。

我が家の娘を例に挙げても、親が寝床を敷いてあげても平気でテレビを観ている神経をもっています。

自分の寝る布団くらい自分で敷く、自分で食べた食器や弁当箱ぐらいは自分で洗う、リビングの掃除は一緒にする（幼児の場合は、お手伝いや見届けが必要です。）というような仕事はぜひ子ども自身にさせてほしいです。

それはやがて人生を生き抜く力になると考えます。



【園長からのお願い】

- 1 朝9：00までの登園に御協力ください。（保育活動に大きく影響します。）
- 2 生活リズムを元に戻しましょう。（早寝・早起き・朝ごはん）
- 3 子どもたちができるようになったことをほめましょう。（自尊感情が育ちます。）